

# 長崎地本だより

発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

国家を守る、  
公務員。  
自衛官募集中



## 夢は自衛官！

### 予備自補から予備自へ

長崎地本（本部長 西田洋一郎 1海佐）は、11月25日（水）、長崎地方協力本部にお



いて予備自衛官補（一般）教育訓練を修了した者1名に対し、予備自衛官の辞令書交付式を実施しました。

辞令書を受け取った松田予備2等陸士は、平成30年12月に予備自衛官補として採用後、勉強に励む傍ら50日間に亘る教育訓練を精力的にこなし、この度晴れて予備自衛官として任用されました。

大学では英語や中国語を専攻し、中国には半年間の留学経験もあり日常会話には事欠かないという事です。一方、趣味はランニングとサイクリングで、長崎から1日かけて実家のある佐賀市内まで自転車で行

ったこともあるという活動的な一面も持ちます。

本部長は、「高い志を持って予備自衛官に任用されたことに敬意を表します。これまでの訓練を生かして頑張ってください。」と伝え、松田予備2等陸士は「予備自補の教育訓練を通して、体力だけで乗り越えるのは厳しく、同時に気力と筋力も必要であると感じました。自衛官になる希望もあるのでこれからも努力していきます。」とコメントし、力強く将来の夢を語りました。

長崎地本は、予備自衛官補から予備自衛官への任用率が全国的に低調である現状を踏まえ、今後も予備自衛官補に対するきめ細やかなサポートを継続し、予備自衛官の勢力確保に努めていきます。  
(予備自衛官室)

## 募集広報 in 五島 空自西空音楽隊演奏会会場にて

長崎地本五島駐在員事務所（所長 納屋誠二 1陸曹）は、11月29日（日）五島市福江文化会館で実施された航空自衛隊西部航空音楽隊演奏会の会場において広報ブースを設置し、募集広報を実施しました。

演奏会は、同市三井楽町に所在する航空自衛隊第15警戒隊が主体となり、密を避けるため観客数を定員の半数以下とするなど、感染防止策を徹底して行われました。

広報ブースには、自衛官募集ののぼりを見て興味を持ってくれた募集対象の中高生や保護



者のほか、孫に自衛隊を知らせたいとパンフレットを希望する方などが訪れ、広報官が自衛官への志願などについて説明を実施しました。

来場した高校生は、「自衛隊について知ることができた」「音楽隊の演奏が聴けてよかった」などと明るく話してくれ、満足している様子でした。

五島所は、このような貴重な機会を最大限有効活用し、島民の皆様への自衛隊の理解促進に努め、入隊志願者の獲得につなげていきます。  
(五島駐在員事務所)

## 県立長崎工業高校 インターンシップ

大村駐屯地



の距離を約1時間かけて行進するなど、ハツラツとした様子を見せました。部隊研修では警務隊の指紋採取体験、軽装甲機動車の体験搭乗、初めてのAED取扱いの演習など多くの初体験があり、学生はすべてに一生懸命取り組んでいました。

長崎所は、受け入れ部隊に深く感謝するとともに、この経験から学生が自衛隊の門をたたき、一緒に任務遂行できる日が来ることを願い、支援を続けていきます。  
(長崎募集案内所)

長崎地本長崎募集案内所（所長 赤波江真治 准陸尉）は、12月8日（火）～10日（木）の間、大村駐屯地において実施された県立長崎工業高校のインターンシップを支援しました。

インターンシップは、高等学校における「総合的な学習の時間」の一環として行われる就業体験であり、同校の2年生8名が参加しました。

体験は基本教練にはじまり、部隊・施設等研修、軽装甲機動車などの体験搭乗、体力検定、行進訓練、AEDの取扱いを含む救急蘇生法、ロープ結索法、災害派遣活動や有線通信に関する座学などの内容で行われました。

学生は、基本教練では号令に素早く反応、体力検定では3000mを10分40秒で走破し、現役隊員を驚かせました。また、行進訓練では20kgの背のうの重さに驚きつつも3km

### 人事

【一定年退職】  
3等陸尉 山道 信義



令和3年1月7日付

准陸尉 川道 弥徳



令和3年1月27日付

お世話になりました

### 【昇任】

1等陸曹へ  
琴海地域事務所  
2等陸曹 寺崎 圭一郎



1等陸曹へ  
諫早地域事務所  
2等陸曹 加藤 多壽子



以上令和3年1月1日付



### 自衛隊長崎地方協力本部 相談窓口のご案内



佐世保出張所 大村地域事務所 諫早地域事務所  
島原地域事務所 長崎募集案内所 琴海地域事務所  
吉岐駐在員事務所 対馬駐在員事務所  
上五島駐在員事務所 五島駐在員事務所

各所の場所や詳細は、長崎地本のホームページで確認できます！

# 令和 2 年 7 月豪雨 災害派遣

## — 即応予備自衛官が活躍 —

### 参加隊員所感

#### 「災害派遣に参加して」

即応予備 2 等陸曹

井上 裕次



即応予備自衛官になり 13 年目で災害派遣に初めて参加しました。

熊本県豪雨により令和 2 年 7 月 4 日、水害や土砂災害のニュースを見て、即応予備自衛官も召集されるのではと感じていました。その日の夕方に部隊からメールが届き、部隊が現在どのような準備をしているのか、いつから即自が召集される予定なのかなど、逐次情報提供を頂き、企業、家庭での調整等に凄く助かりました。また、長崎地本の方とはそれまでは一度しかお会いする事はなかったのですが、今回の災害派遣で地本の方と連携がとれ、企業側にもしつかり対応して頂き感謝しています。

災害派遣の活動内容は、新型コロナウイルス感染症予防の為、直接被災者の方との接触がない物資輸送の任務でした。所属中隊の任務は入浴支援でしたが、今回はその任務に従事することは叶いませんでした。健康駐屯地での指示受けの後、物資集積の拠点であるグランメッセ熊本に移動し、大型車両に物資の積み込みをして、人員車を含め大型三両で数箇所の被災地に物資を運びました。待機という日もありましたが、コロナ感染予防の為即自隊員に従事させる作業にも制限があるのさうと感じていました。今回の災害派遣はコロナ感染予防の制約の中での活動であり、

自分の中で大きな達成感とまではいかなかったのですが、少しでも被災地のためになつたのであれば、という思いです。今後また災害召集がかかった際は、ぜひ参加したいと考えています。

#### 「災害派遣活動に参加して」

即応予備 3 等陸曹

岩田 幸典



即応予備自衛官になって 2 度目の災害派遣になりました。

前回は、東日本大震災で南三陸にて行方不明者の捜索へ行き、幼い子のランドセルや、写真などを瓦礫の中から取り出す時も歯を食いしばり、涙を堪えたのを思い出しました。今回は五島に出張で行っている時に災害召集を受け、勤務先へ連絡すると、前回同様、粕谷製網の代表として行って来い！と背中を押していただいたので、心置きなく職務を遂行する事が出来ました。自衛隊という組織の中にいて、少しでも日本の復興に携われて良い経験になりました。

これからも、日々体力錬成に邁進し、資格や技術を有事の際の武器として磨いていきたいと思います。次は、災害派遣ではなく、復興後の人吉市へ観光に行きたいです。ガンバレ人吉！

#### 「災害派遣に参加して」

即応予備 2 等陸曹

五十嵐 聡



今回の熊本豪雨災害に対する召集命令が、年間の召集訓練中にある。

急遽会社へ連絡し出頭の許可をいただきました。会社の社長をはじめ皆さんから、「頑張ってください」と声をかけていただきました。私が派遣された地区のほとんどが床上浸水という状況でした。活動内容としては、人吉駅周辺で畳や電化製品、タンス等の車両への積み込み作業でした。一日でも早く被害を受けられた方が普通の生活ができるようになってほしいと思います。これからも仕事と訓練を両立させて即応予備自衛官として今後も努力していきたいと思っています。

### 派遣企業所感

有限会社 ダイシン

代表取締役 酒谷 法美



今回の豪雨災害では、私の知人も罹災するなど身近に感じているところ、災害召集の連絡を受け、本当に喜ばしく感じました。弊社は、チームを編成し各事業現場へ技術者を派遣する仕事をしています。召集の連絡を受け、当該社員が現場を離れることで、他の従業員に不安を与えるのではないかと心配しました。しかし、他の従業員からは「自分たちが当該従業員の穴を埋めることで、間接的に災害復旧の役に立つことが出来る。」との声があるなど、社内の結束力が格段に向上しました。

近年の災害対策は、日本にとり喫緊の課題であり、何らかの形で貢献したいと日々考えています。社員が災害召集されることは、災害復旧に役立つこと、弊社の従業員全員の誇りとなっております。今後、即応予備自衛官の召集に対応を通じて、国家や地域への貢献を更に深めていきたいと考えております。

有限会社 ぼてとの里  
代表取締役 松尾 博明



熊本豪雨災害への派遣の連絡を受けた時、実際の所、社員を被災地へ送り出す事は、不安もありました。日頃から召集があった時には出頭させる事が優先で、その為に訓練に励んでいると認識していましたが、災害派遣の出頭は、当然の事だと思います。任務が終了し出社した時には、同僚から「お帰り」「お疲れ様」と言葉をかけてもらいとても嬉しそうでした。

今後、即応予備自衛官制度の支援や災害派遣活動に応じやすい環境を整えていきたいと思っております。

有限会社 工芸イワナガ  
代表取締役 岩永 徳充



今回の豪雨災害に遭われ、被災された地域住民の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

報道等を見るたびに、心痛む場面も多く、私たちも少しでも役に立てたらと思うばかりでした。そんな時、即応予備自衛官に召集があり、弊社も該当者を一人送り出すことができ大変良かったと思っております。

コロナ禍の中でもあり、従業員への配慮も必要となりましたが、災害派遣に行く本人が一番大変です。とにかく「体に気を付けて役に立つように」と伝え送り出しました。定期的な訓練の成果を遺憾なく発揮出来たことと思っております。今後、即応予備自衛官の召集を受けた場合には、即応予備自衛官を派遣できるような環境を作りたいと考えております。

社会福祉法人敬天会  
理事長 栗林 裕子



職員は、即応予備自衛官として勤務し、17年、毎月召集訓練に出頭し訓練を重ねてまいりました。今回熊本南部豪雨災害派遣の召集があり出頭する事ができ、職員が思いを背負い社会貢献、被災地支援、予備自衛官等としての使命を全うする貴重な機会であったと感じております。

職員の出頭にあたり対応について最も危惧した事は、勤務調整で支援の必要性を感じ協力しながら調整を行いました。本人からも出頭前、出頭中の状況をメールにて知らせてくれたことで支える職員も仲間が被災地で頑張る姿を頭に浮かべ日々の業務にあたり、施設として貢献できたことを誇りに思うことができました。また本人も実際の被災地の状況を目の当たりにして日頃の訓練の大切さ自衛官の力を実感した様です。今後、召集訓練、災害派遣に施設全体で協力していきたいと考えております。

本田商會株式会社  
取締役会長 本田 文昭



平成 26 年 4 月から 2 年間西部地区の面隊のオピニオンリーダーを拝命し、お陰様で第一線の現状を理解する事が出来ました。

過去自衛隊 O B を積極的に採用して参りました。現在も 5 名の方に在職して頂いています。即応予備自衛官は現在 1 名ですが、要請の都度、優先して出頭させていただきます。

日建サポート株式会社  
代表取締役 清水 健二郎



50 年続いている土木会社の新規業として警備業を 2020 年 1 月に立ち上げました。

今回の熊本豪雨、球磨川の氾濫を TV で見て災害の甚大さに驚き被災者の人々の現状を考えますと心が痛く大波が打ち寄せるように沈痛な気持ちに追い込まれ漆黒の闇に落ちる感じでした。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。即応予備自衛官の災害派遣に微力ながら参加できたことを光榮に思います。進んで被災地に行ってくれた従業員を誇りに思っています。彼の勤務地は交通量が多い場所の担当、苦勞もいとわれない社員、さすが即応予備自衛官だと思えます。ご縁があれば予備自衛官に弊社に募集していただきたいと思います。自衛隊の皆様のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

即応予備自衛官の災害派遣に微力ながら参加できたことを光榮に思います。進んで被災地に行ってくれた従業員を誇りに思っています。彼の勤務地は交通量が多い場所の担当、苦勞もいとわれない社員、さすが即応予備自衛官だと思えます。ご縁があれば予備自衛官に弊社に募集していただきたいと思います。自衛隊の皆様のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。